

第2回 被爆二世の体験を聞く会

長崎県被爆二世の会では、会長の丸尾育朗さんがガンを再発し、抗ガン剤治療を始めたことから、「被爆二世の体験を聞く会」を始めました。今回、2回となりますが、長崎県被爆二世の会副会長で、長崎県被爆者手帳友の会二・三世部会代表の野口伸一さん(74歳)からお話を伺います。

野口さんのお母さんは20歳のときに長崎市戸町(爆心地から5km)で被爆した直接被爆者です。野口さんは、若い頃は病気をしたことはありませんでしたが、40歳近くになって、血圧と血糖値の異常を指摘され、薬を飲むようになり、その後、脳梗塞を発症しました。そして、2017年、2018年に胃ガンの摘出手術を受けました。野口さんが被爆二世であることを意識し始めたのは、一番下の弟が急性白血病で26歳で亡くなったときからだそうです。今は、「被爆二世の援護を求める集団訴訟」に原告として参加し、6月には原告本人尋問にも立たれました。



野口伸一さん

被爆二世として生きてきた野口さんの思いや体験を聞かせて頂き、記憶にとどめるとともに、今後の活動に活かしていきたいと思います。

日時 : 2021年10月9日(土) 14時 ~ 16時

場所 : 長崎県勤労福祉会館 3階 大会議室

証言者 : 野口伸一さん(長崎県被爆二世の会副会長)

* 会場では、新型コロナウイルス感染防止対策のため、手指消毒とマスクの着用などにご協力ください。

主催 : 長崎県被爆二世の会
問い合わせ先: 事務局長 崎山昇
携帯電話 090-2519-2066